



ご家庭で眠っている食品をご寄付ください

(フードドライブへの協力)

ご家庭にある食品を一定の場所に持ち寄り、食に困っている方などに役立てる「フードドライブ」(ボランティア活動)をフォーラムの開催にあわせて実施します。

寄せられた食品は、「フードバンクおおいた」を通じて、県下で食に困っている方や子ども食堂などに届けられます。是非ご協力ください

(受取日時・場所: 10/22 13:00~15:30 廉太郎ホール前)

○寄付していただきたい食品…賞味期限まで2か月以上あり、未開封で常温保存が可能な食品
【例えば…缶詰、インスタント食品、レトルト食品、各種調味料、乾麺(そうめん、そば等)
飲料(アルコールを除く)、お菓子など(今回は、お米は対象としません)】

「フードバンク」とは…

安全に食べられるのに未使用のままご家庭に残っている食品や、企業などの過剰在庫等の食品を寄贈していただき、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。

「フードドライブ」とは…

フードロス対策として、家庭にある食品等を一定の場所に持ち寄り、食に困っている方などに役立てるボランティア活動(その啓発活動を含む)です。



「フードバンクおおいた」とは…

大分県社会福祉協議会が中心となりフードバンク活動等を行う組織です。



令和3年 地域共生社会実現フォーラム in 竹田の様子

令和3年11月27日(土)開催しました!

テーマ『いのちを守り いのちを育み そして いのちを輝かせる 竹田市へ』



6回目を迎えた昨年は『いのちを守り いのちを育み そして いのちを輝かせる竹田市へ』をテーマに、臼杵市高齢者支援課 地域共生担当 石井課長代理より「竹田市ならではの地域共生社会について」ご講義いただきました。

また、竹田市で活動する地域の方々に素敵な活動の紹介もしていただきました。



『地域共生社会とは支え手側と受け手側に分かれるのではなく、誰もが役割をもって地域で活躍ができること。ふらっと寄れる、楽しそう!ちょっと協力してみようと“気軽に”できることが大切』と、お話しする石井課長代理

第7回目となるフォーラムでは、地域共生社会にもう一步踏み込んで、目指す竹田市の姿を、みなさんと考えていきたいと思ひます。感染予防対策もしっかりと行ない開催しますのでぜひ会場までお越しください。

地域共生社会

令和4年度

実現フォーラム in 竹田



『いのちを守り いのちを育み
そして いのちを輝かせる 竹田市へ』
～竹田市でできることから始める地域共生社会について～

日時 令和4年 **10**月**22**日(土)
13:30～15:30 (受付 13:00～)

場所 竹田市総合文化ホール
グランツたけた
廉太郎ホール

竹田市では、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし、子どもから高齢者まで地域を超えてつながり、互いに支え合い、助け合いながら暮らすことができる「地域共生社会」の実現を目指しています。

今年はサブテーマを「竹田市でできることから始める地域共生社会について」とし、それぞれの取り組みや活動についてご講演頂きます。まずはできることから自分の地域の活動について市民みなさんと一緒に考えてみませんか？

13:30 開会 (受付 13:00～)

竹田市長 土居 昌弘 あいさつ

13:40 シンポジウム (コーディネーター：藤田和徳 副市長)

第1部 「大分県内の地域共生社会の取組動向」

大分福祉保健部 福祉保健企画課

地域福祉班 主査

大塚 俊輔 氏

「地域福祉課題解決に向けた住民参画の地域づくり」

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会

地域福祉課長

吉田 瑞穂 氏

第2部 「竹田市の地域づくりについて」

竹田市役所

社会福祉課長

後藤 いずみ氏

竹田市社会福祉協議会

地域福祉課長

工藤 和加子氏

「コミュニティひろば i-meiji の活動」

コミュニティひろば i-meiji 事務局次長

大塚 昭二郎 氏

「荻地域買い物支援事業について」

荻地域社会福祉協議会 事務局長

白石 健一 氏

14:40 意見交換

15:30 閉会

主催：地域共生社会実現フォーラム実行委員会（竹田市・竹田市社会福祉協議会） 後援：大分合同新聞社
【お問い合わせ】竹田市高齢者福祉課 63-4809 竹田市社会福祉協議会 63-1544